

SUPER ROOF

スーパーハイブリッドシステム

Super System

SUPER FUSSO ROOF / SUPER SILICONE ROOF



進化

ハイブリッド工法が、更に



標準型

初夏から秋の
暑い時期に最適。
従来品よりポットライフが長くなり
作業性が向上します。

低温型

低温時期の作業性が
格段に向上。
低温時の塗装時間が延長でき
耐白化性が向上します。



FOR EVERY SITUATION
IT RESISTS FREEZE
LUSTER CONTINUES FOR A LONG TIME
IT DRY IMMEDIATELY
ECONOMY
IT SUPPORTS ALL COLORS

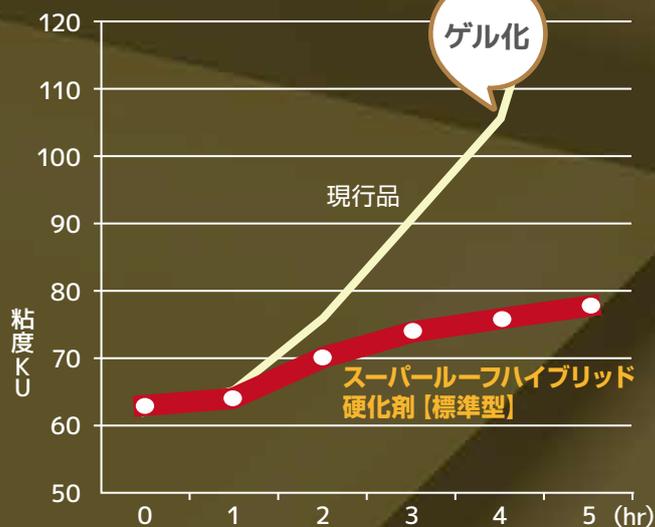
スーパーハイブリッド硬化剤

【標準型】・【低温型】の特徴

- 1液でも高性能ながら、ハイブリッドシステムを用いることで更に強靱な塗膜が得られます。効果としては初期光沢、光沢保持性、密着力、耐水性、初期硬化性などの向上が大いに期待できます。
- スノーダクトや勾配の緩い屋根は長時間雪が乗っている状態が続くため、解けた雪が水となり塗膜表面に長時間滞留します。それにより塗膜の「ふやけ」や凍結融解の繰り返しが原因による塗膜剥離が発生する確率が高くなります。この過酷な条件下でハイブリッドシステムは威力を発揮します。
- 「必要なときに必要なだけ」使用できるため材料ロスの改善になります。
- 【低温型】は、塗膜の硬化スピードが速くなり、初期耐水性(3時間/5°Cレベル)が向上します。(結露対策)

【標準型】のポットライフ

高温(40°C)環境での粘度変化



硬化剤の選び方



昼と夜の気温差が激しい時期は結露による艶引け現象が起こりやすいため作業時間を考慮してください。

試験結果

製品名	スーパーシリコンルーフペイント	スーパーシリコンルーフペイントハイブリッドシステム	スーパークリスタルルーフペイント	スーパークリスタルルーフペイントハイブリッドシステム	スーパーフッソルーフペイント	スーパーフッソルーフペイントハイブリッドシステム	
	光沢20°/60°グロス	76/85	83/90	78/88	82/90	80/90	82/90
凍結融解サイクル	30サイクル	○	○	○	◎	◎	
	50サイクル	△	○	○	○	◎	
塗膜物性	伸び率(%)	79.0	98.0	75.6	94.0	75.2	93.0
	破断応力(N/mm)	10.5	13.0	12.5	15.8	12.5	16.0
促進耐水性 XWOM 3000時間	光沢保持率(%)	86	90	89	93	91	94
	色差(ΔE)	0.67	0.41	0.49	0.31	0.39	0.25

性能比較表

製品名	スーパーシリコンルーフペイント	スーパーシリコンルーフペイントハイブリッドシステム	スーパークリスタルルーフペイント	スーパークリスタルルーフペイントハイブリッドシステム	スーパーフッソルーフペイント	スーパーフッソルーフペイントハイブリッドシステム
初期光沢	○	○	○	◎	◎	◎+
色・光沢保持性	○	○	◎	◎	◎	◎+
密着性	○	◎	○	◎	○	◎
耐水性	○	◎	○	◎	○	◎
耐凍害性	○	◎	○	◎	○	◎

標準塗装仕様書

下地処理要領		上塗の施工要領		塗布量 (kg/m ² /回)	希釈率 (%)	塗装間隔	膜厚 (μ)	
素地調整	劣化した旧塗膜やさびは、ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを用いて除去し、ゴミ・汚れのない清潔な面とする(3種ケレン以上)。ケレン後は高圧水洗にて洗浄し、十分乾燥させる。素地露出部は下塗工程で補修塗りを行う。	上塗 1		スーパーフッソルーフペイント スーパークリスタルルーフペイント スーパーシリコンルーフペイント + スーパーハイブリッド硬化剤 (ベース)7 / (硬化剤)1	刷毛・ローラー 0.11 スプレー 0.14	0~10 5~15	23°C 2時間以上	20~25
		上塗 2		スーパーフッソルーフペイント スーパークリスタルルーフペイント スーパーシリコンルーフペイント + スーパーハイブリッド硬化剤 (ベース)7 / (硬化剤)1	刷毛・ローラー 0.11 スプレー 0.14	0~10 5~15		
下地の状況	・標準仕様 ・密着性向上	・亜鉛メッキの露出 ・新規トタン ・防食性向上 ・密着性向上	・ガルバリウム鋼板	・塩ビ鋼板	・屋根用化粧スレート ・セメント瓦 (一部洋風瓦除く)			
下塗	・ルーフエポプライマー ・ザウルスEXII ・1液エスコマイルド	・エポマリンGX ・エスコNB ・エスコ ・アルテクトNB ・スーパーザウルスII	・エポマリンGX ・スーパーザウルスII	・エポマリンGX ・エスコNB ・エスコ ・アルテクトNB	・Mシリコンプライマー ・ヤネ強化プライマーEPO ・浸透形Mシーラー(透明白)			

※スーパークリスタルルーフペイント、スーパーフッソルーフペイントは金属系屋根専用の上塗塗料となります。

製品概要	製品名	混合比	荷姿
	スーパーハイブリッド【標準型】【低温型】硬化剤	7:1 14Lを14kg、2Lを2kgと換算してご使用ください	14L(1斗缶)に対して 1L×2本

塗装上の注意事項

- ① 使用前にはマーゼールなどの電動攪拌機を用いて十分攪拌してください。
- ② 下地調整が不十分だと、塗膜剥離の要因や、艶が出ない等の仕上がり不良になる場合があります。塗替の場合、必ず高圧水洗・デッキブラシ等を用いて水洗いを行って、旧塗膜や付着物を入念に除去し、清浄な面にしてください。
- ③ 高圧洗浄後は被塗面を十分に乾燥させてください。フクレ・割れ・ハガレの原因になります。
- ④ 昼と夜の気温が激しい時期は結露による艶引け現象が起こりやすいため作業時間を考慮してください。
- ⑤ 他の塗料との混合は絶対に避けてください。
- ⑥ 使用した塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- ⑦ エアレスでの塗装の場合、塗装ミストが飛散しないよう、十分な養生を行ってください。特にハイブリッド仕様は、硬化後は溶剤に溶けにくいので十分ご注意ください。
- ⑧ 高圧洗浄を行うと屋根が非常に滑り易くなりますのでご注意ください。旧塗膜がグラフィット顔料を用いた塗材の場合は特にご注意ください。
- ⑨ ポットライフは30℃(低温型は10℃)で4.5時間ですので、その間で使い切れる程度の量を調整してご使用ください。
- ⑩ 薄膜とならないよう、膜厚は十分確保してください。薄膜の場合は剥離事故の危険性が著しく高くなります。特にローラー塗装や過希釈はご注意ください。
- ⑪ スーパーシリコンルーフツや消しには、ハイブリッド硬化剤は使用できませんのでご注意ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔・手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【対応】

目に入った場合・直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に着した場合・直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合・空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合・直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保管】

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

【廃棄】

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときには、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(20年11月04日PJP)カタログNo.814